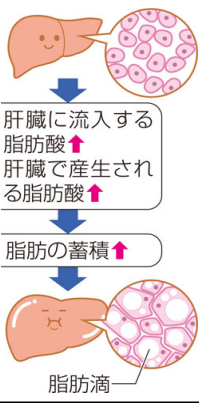
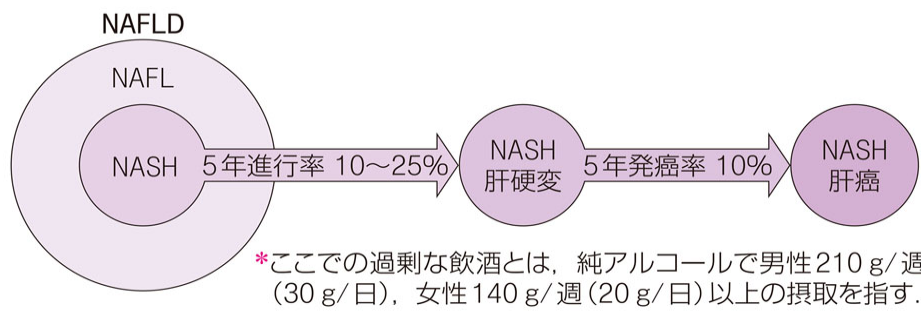


脂肪肝に関して

脂肪肝とは肝臓に過剰に脂肪が蓄積（脂肪化）した状態であり、画像診断または組織診断で診断されます。脂肪肝はアルコール性脂肪肝と、過剰な飲酒歴の無い非アルコール性脂肪肝疾患（NAFLD：ナッフルデー）に分類されます。NAFLD はさらに非アルコール性脂肪肝（NAFL：ナッフル）とその重症例である非アルコール性脂肪肝炎（NASH：ナッシュ）に分けられます。

NAFLDとは

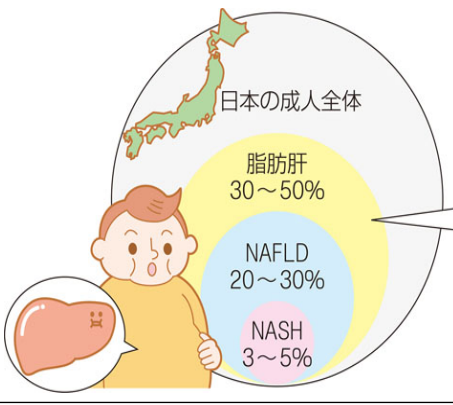
過剰飲酒歴を伴わず、30%以上の肝細胞に中性脂肪蓄積による脂肪滴を認める病態です。NAFLDは肥満や生活習慣病が原因であることが多く、男性が女性より高頻度であり、男性は中年層、女性は高齢層に多いとされます。特異的な症状はなく、腹部画像検査により診断されることが多いです。肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧を基盤としていることが多く、メタボリックシンドロームの肝病変として捉えられます。



近年、わが国ではNAFLDが大変注目されています。背景には日本において肥満やメタボリックシンドロームとともにNAFLD患者数が増加している現状があります（健診受診者における有病率は男性が約40%、女性が約20%です）。また、肝がんはウイルス性、次にアルコール性が主な原因でしたが、NASHも病態が進むと、肝硬変、肝がんへ進行するリスクが高まります。このためNASHへの進行を見逃さないよう注意が必要です。NAFLDには特異的な症状や身体所見は無く、倦怠感などの自覚症状以外は肝腫大を認める程度であり、診断には、過剰な飲酒歴の有無がアルコール性肝障害との鑑別として必要です。

脂肪肝の治療は脂肪肝が関連するメタボリックシンドロームのコントロールと肝障害の予防等が主となります。食事療法、運動療法などの生活習慣の改善により、肥満、糖尿病、脂質異常症、高血圧を是正することが大切です。

文責 青川真樹



脂肪肝の罹患者数はここ数年で急増し、そのためNAFLDやその重症例であるNASHの罹患者数も急増している。